

9/20 早稲

参院特別委の採決は有効？

安全保障関連法をめぐり、参院本会議の前に17日の特別委員会で行われた採決の正当性が、問われている。

採決は同日午後4時半ごろ、与野党議員が委員長席に詰め寄って騒然とする中で行われ、傍聴席やテレビ中継では、委員長の声は確認できなかった。この場面を記録した未定稿の議事録でも「……（発言する者多く、議場騒然、聴取不能）」とだけ書かれている。

野党側は「何が採決された

のか、されていないのか。誰も声が聞こえておらず、全く分からない。（正式な）議事録を精査し、何がどうなったかが明らかになるまで、議決は無効だ」（榛葉賀津也・民主党参院国対委員長）と強調。弁護士有志200余人も18日、同趣旨の声明を出している。

正式な議事録は、審議終了から数日後に完成し、国立国会図書館が運営するサイト「国会会議録検索システム」で公開される。

未定稿議事録に「聴取不能」